

<2009—2010年度>

第2回

キャビネット会議

委員会委員長報告書

2009年11月6日（金）

AP西新宿 5階 会議室

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区

第2回キャビネット会議委員長報告書

委員会名 長期計画委員会
委員長名 曾根原 良仁

報告事項

当委員会は2009年7月28日(火)、2009年9月10日(木)と現在まで2回の委員会を開催しております。

以下の委員長報告を致します。

- 1) 長期計画委員会はガバナーより下記の諮問及び答申の具体的指針を戴いております。
 - ① キャビネット運営について、将来的な問題予想(事務局・地区分割等)についての答申
 - ② 委員会仕分け継続(委員会数・委員数 等)事務局運営全般についての方向答申
 - ③ 前期複合地区年次大会の懸案・検証、準地区としての方向・答申

以上、大変広範囲でむずかしい問題を抱えての審議で、審議も落ち着いたばかりであり、総括的な論議に入った内容になります。

2) 審議内容の現在までの経過報告

- ① 各クラブの運営方針、奉仕活動状況などに独自性もあるが、共通した面も沢山ある。又、キャビネット運営と各クラブが乖離した面もあるので、今後委員会は調査研究をする。
- ② 少数クラブの増強・活性化・高齢化対策、何故新入会員の供給源が枯渇したか調査と対策を検討する。
- ③ ガバナー方針である、『親しい友人を入会させよう』その為には各クラブがどんな環境を構築すれば良いか、具体的検討をする。
- ④ ガバナー諮問に答えるためには、今後マールチームコーディネーターを通じて、マールチームとも合同委員会を開き、具体的な方向性を得るための審議をお願いしたい。

以上

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 会員委員会

委員長名 L 木 下 満 (銀座)

報告事項 1、例会・アクティビティ活性提案について

1. リジョン、ゾーン内に於いて、各クラブの例会、アクティビティなど情報の開示並びに共有を行い、気軽に訪問したり、活動に参加できる状況を創る。
2. キャビネットホームページに各クラブアクティビティの事後の報告は有ったが、事前の、予定の掲示を行い、積極的に参加を呼びかける。
3. 各クラブの有意義な活動を、ライオン誌に掲載して貰うように積極的に働きかけ、より活発化する糧とする。
4. 構成メンバーの少ないクラブは、準会員制度を有効活用し、活性化を計り、また準メンバーは他クラブの活動を通して、自クラブ運営に資する。

2、330-A 地区 LC 広報・会員入会パンフレット作成提案

1. ライオン誌日本語版委員会作成 A4 版三つ折りパンフレットは、コンパクトであり、アクティビティ現場で配布しやすく、当該ホームページからダウンロードし、簡単に作成出来るので、積極活用を促す。
2. A3 版二つ折りパンフレットは、第 1 面にライオンズ国際協会並びに概要の記載第 2 面、第 3 面に奉仕活動の写真掲載でこの面まで共通紙面、第 4 面に各クラブの独自の活動を記載する事により、300 部作成で 1.5～2 万円という非常に安価で作成できるので、作成を奨励し有効活用を計る。

3、家族会員他各種会員制度の活用提案書検討

1. 会員制度に付き、各クラブ、各メンバーが充分に理解するように努める。
2. 会員の種類は、正会員から賛助会員まで 7 種類であり、家族会員及び学生会員は、正会員の国際協会プログラムにより作られたものであるので当然に正会員である。
3. 家族会員、学生会員の趣旨をよく理解して、対応は各クラブに委ねたい。

キャビネットインターネット情報の有効活用について

会員委員会委員長 L 木 下 満

今期岡野ガバナーは、インターネットに記載のとおり、各クラブのアクティビティに積極的に参加し、汗を共に流し実際に見聞し、情報を共有したいとの意向であります。

しかしながら、現在メンバー一人一人が情報を共有しているとは言い切れません。キャビネットからの年間の大量な情報は、時の執行部によりある程度の判断がなされ各クラブ員に伝達されているでしょうし、この件に関してRC、ZCがかならずしも有効に機能しているともいえません。そこで情報伝達の方法として更なる活用を期待されるものがインターネット情報です。

他クラブのものでも自分が興味有り、参加意思さえ有れば受け入れてくれるとのことのお誘いが有れば、これに積極的に参加したいという気持ちのメンバーは大勢います。こうした活動を通じて、横のつながりができ、こうした有機的な組織の中に自分がいるという自覚も芽生えてくれば、入会はしたけれど自分の考えるものとは違っていたとの理由で退会してしまうことも少なくなると思われます。

あらゆる機会をとらえ、皆の情報を共有することにより、身近なところでは退会防止にもなり、またアクティビティを通じ興味を覚えた比較的入会年次の浅い方々は、いろいろな奉仕活動を知ることにより、我々はこんなこともしているんだ、一緒にやろうよと友人を誘えるきっかけにもなればと考えます。

各クラブにはホームページを積極的に活用し参加の呼びかけをしていただき、またキャビネットでは『各クラブからの情報』の「活動レポート」の前に「活動予定並びに参加要請」の項目を新設いただくことにより、積極的に参加する他クラブのメンバーも増えるものと思われます。

こうした手段を講じまさに情報の共有を密にしていこうではありませんか。

平成 年 月 日

広報委員会 御中

ライオンズクラブ

役職名 L

アクティビティ予定 登載依頼

日にち 月 日 ()

所 属 R Z

クラブ名 ライオンズクラブ

時 間 時 分から

時 分まで

場 所

活動内容

連絡先 TEL

FAX

E mail :

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 指導力育成委員会

委員長名 藤井清一

報告事項

1. 第 1 回委員会を 8 月 1 7 日に開催し、ガバナー運営基本方針並びに諮問事項について下記のような意見交換がなされた。

- ①クラブで会長・幹事・会計が指導力を発揮できるセミナー
- ②若手メンバーによるクラブを超えた横断的な会合（情報交換会）
- ③新入会員か中堅か、どこへ指導力の重点をおくか？
- ④年数の古いメンバーへも再認識のため指導力育成が必要では？
- ⑤若手や新入会員が育つような環境を作るためのメンバー育成

2. 第 2 回委員会を 9 月 1 4 日に開催。MERL 委員会の報告も参考に意見交換を行い、リーダーシップ研修会開催の答申を下記のようにすることにした。

- ①参加対象 新入会員並びに中堅会員
- ②リジョン毎に数名ずつ選考を依頼（会員間でクラブを超えた情報交換へ）
- ③参加人数は 5 0 名程度
- ④研修内容

イ. 1 泊 2 日程度 東京近郊で検討

ロ. 平成 2 2 年 2 から 3 月

ハ. 昼集合し研修を夜まで行い、翌日昼解散

二. 講師講演やグループディスカッション等、これから当委員会並びに MERL 委員会等と検討する。

3. リジョンチェアパーソンの方々にはリーダーシップ研修会メンバーの選考を各リジョン 3 から 4 名御願いたいと存じます。

(注) 1 0 月 5 日（月）（※必着厳守）までに 3 3 0 - A 地区キャビネット事務局宛まで E メールもしくは F A X にてご提出をお願いいたします（E メール報告推奨）
E メール件名は必ず「第 2 回キャビネット委員長報告書」としていただき、ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

平成21年10月5日

ライオンズクラブ国際協会
330-A地区ガバナー岡野忠生様

指導力育成委員会
委員長 藤井清一

ガバナーからの諮問事項につきまして、リーダーシップ研修会の開催実施を下記の通り委員会より答申致します。

1. 目的 メンバーの意識の向上を図り、自己研鑽の場をリーダーシップ研修会として行う。また、メンバーのクラブ横断的な連携並びに活性化を図る。
2. 参加人数 50名程度
3. 参加対象 入会して5年未満程度のメンバーを対象とする。
4. 参加者選考 各リジョンからの推薦による。(各リジョン3名程度)
5. 日程 2から3月の土日の一泊2日とする。
6. スケジュール
 第一日目 昼集合 夜まで討議
 第2日目 午前中に全体会議 昼食後解散

7. 研修内容

これから詳細をMERL委員会の協力得て検討致します。

- ① 講師による講演によりテーマを与え、グループディスカッション等でまとめていく。
- ② テーマをMERL委員会を出してグループや全体でのディスカッションでまとめていく。

その他、幾つも手法があるので今後詰めていく。別紙の通り330-C地区による若手フォーラムの企画案も参考まで添付致します。

8. 開催場所 未定ですが、宿泊と研修ができる東京近郊のホテル等の施設を検討。
9. 参加費 未定。

若手フォーラム企画案

1. 目的

若手会員に対し適切な刺激を与えつつ問題意識を共有することを通じ、様々な活動への参加を慫慂するとともに、社会の指導者たるライオンズ会員の自覚を覚醒させ、前向きな進化を誘う。フォーラムに参加する会員は、自らと仲間のリテンションに努めるのみならず、将来の会員拡充の核となり、ライオンズをさらに進化させる指導力を身につけることが期待される。

2. 概要

(1) 構成

以下3. のプログラム案の通り、フォーラムは日程と参加者にもよるものの、1-2日をかけ、大きく分けて、①開式、②アイス・ブレーカー、③ブレイン・ストーミング&グループ討議、④グループ・プレゼンテーション、⑤全体討議、⑥閉式、(⑦懇親会)で構成される。

(2) 基本的なルール

- 参加者はタイトルおよび姓を互いに明かさず、自由な一個人として参加する。
- 参加者がライオンズに関する知識がない場合でも、批判せず、積極性を顕彰する。
- 主役は参加者で、役職者やシニアによる指導は、全体発表もしくは閉式まで控える。
- ライオンズクラブ国際協会講師養成講座(FDI)の骨子に従い、事前にファシリテーター、メンター、コーディネーターは研修を実施する(最低2・3時間程度)。フォーラムもFDIの成人学習法に沿い、ブレイン・ストーミング等の手法を活用する。

(3) 参加者数

8-10名で1テーブルを構成、各テーブルにファシリテーターが付き、議論をリードする。最終的な全体発表に鑑みれば、最大で10テーブル分が限度に思われる。
若手フォーラムの「若手」の定義であるが、2009年ライオン誌主催のフォーラムでは「50歳以下」としたが、適切な定義をご検討いただきたい。

3. 具体的な実施と時程的イメージ

(1) ファシリテーター研修

丸テーブルを使い、プレーン・ストーミングの導き方の講習および全体像の把握

(2) 登録

登録者名簿を基に登録するが、受付で手交するネーム・プレートは白紙とし、マジックでファースト・ネーム等適切な呼称を参加者自身に書いてもらい、名札として使用する。キャビネットやクラブの名札バッジは使用禁止、名刺交換は全体発表時間まで禁止。

(3) 開式

丸テーブルに適宜着席（同一クラブの人物が同じテーブルに座らないよう工夫）

司会者による開会宣言に引き続き、主催者側挨拶、コーディネーター側より事務的な説明。

(4) グループ討議×2

「アイス・ブレイカー」＋「グループ討議」＋「グループ発表」を1セッションとし、これを2回実施する。

テーマについては、「ライオンズの将来」、「クラブ会員を増やすためには」、「ライオンズにかけているもの」等を事前に二題、主催者がコーディネーターと相談して決定しておく。

(5) 全体討議

グループ討議に関連するテーマでのさらなる全体討議、質疑応答、もしくはよりシニアなリーダーよりの講演等を実施する。

全体討議の最後には、可能であれば DG より講評いただき、ラペルピンでも授与いただければありがたい。

(6) 懇親会

若手懇親会らしい趣向を検討いただければありがたい。

4. 必要なもの

(1) 会場

若手フォーラムゆえに、質素で差し支えない。

(2) 準備するもの

共通：名札、プログラム、マイク等

グループ討議（各テーブルに）：色マジック、大型付箋、クリップボード、模造紙、便箋等

全体討議：記念品もしくは受講修了証

(了)

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 エクステンション委員会

委員長名 L石井 祐治

報告事項

1. 現在A地区において、幾つかのエクステンション計画が検討されている。
2. シニアライオンズクラブを今期中に設立するべく検討している。
3. 今後、各クラブ宛てにエクステンションに関するアンケート調査を行う予定です。

(注) 10月5日(月)(※必着厳守)までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします(Eメール報告推奨)
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

平成21年10月8日

委員長報告

ライオンズクラブ国際協会330-A地区
リテンション委員会
委員長 横河 明紀

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、リテンション委員会の活動報告を下記の通り致します。

記

1. 過去の退会者のリストによると2005年—2008年各年度500名から700名の退会者があり、この状態を半減させることにより会員減少を抑えられるではないかと思ひ、別紙アンケートを作成退会理由等の分析結果を関連委員会で、利用してもらう事とした。
2. アンケートの記入者は各クラブ会長または幹事とし、配布はリジョン・チェアーパーソン→ゾーン・チェアーパーソン→会長または幹事とし、回収は逆の順序とする。
3. 提出期日はマンスリー報告と同時とする。

以上

ライオンズクラブ退会メンバーに関するアンケート調査

☆ 支障のない項目のみご記入をお願い致します。

2009年 月 日付

A 退会者の経歴について

- ・入会年月.....年.....月
- ・退会年月.....年.....月 在籍.....年.....ヵ月
- ・現 在歳 男.....女

B 所属クラブについて

- ・クラブ名.....
- ・結成年月.....年.....月 現在.....周年
- ・年会費.....円
- ・第一例会日 毎月 第.....曜 日 (.....:.....~.....:.....)
- ・第二例会日 毎月 第.....曜 日 (.....:.....~.....:.....)
- ・特別例会開催 納涼例会・Xマス例会・新年例会・花見例会
その他 (.....)

C 退会された会員について

- ・役員歴：会長・幹事・会計・地区役員・複合役員・その他
- ・退会直前の役職：.....
- ・入会招請にあたり実施した説明内容：
LCの趣旨・例会出席義務・会費・奉仕活動・仕事利便・その他(.....)
- ・退会後の関係：入会時と同様・円満・普通・疎遠・陰悪

D 退会理由について

- ・経済状況・人間関係・健康問題・アクティビティーの内容・その他

E 各種会員制度の活用状況について

会員維持の為に〔 不在会員・優待会員・転籍・準会員・賛助会員 〕の制度を有効運用している。

F 今後のライオンズクラブに望む改善点について

例会の在り方・アクティビティーの在り方・クラブ役員選任・会費・奉仕活動
人間関係・ドネーション・クラブ運営・キャビネット運営・時間的制約・選挙

以上、御協力有り難うございました。

第2回 キャビネット会議 委員長報告書(1)

委員会名 広報委員会（PR会報部門）

委員長名 近藤 正彦（八王子陵東LC）

1) 報告事項（委員会会議）

広報委員会では第1回キャビネット会議で決定された広報委員会への諮問に基づき、下記の通り準備会、委員会を開催しました。

2009, 6, 18（木） 広報委員会 準備会（委員会の運営や準備について話し合いました）

2009, 6, 29（金） 〃 準備会（地区ホームページの運営や地区ニュースの発
について話し合いました。地区ニュースホームページについては、
7月1日よりリニューアルして広報しています）

2009. 7. 24（金） 委員会メンバーがライオン氏日本語版事務所を訪問してライオン誌日本
語版編集に関してインタビューし、地区ニュースの発送に関しても、ラ
イオン誌と同梱して地区内メンバーに届けることを検討しました。

2009, 8. 06（木） 広報委員会開催、従来の地区ニュースはカラー16ページほどを年3回発行
する（11月、2月、5月予定）地区ニュース速報版の発行（担当山本委員）
について検討しました。

（岡野ガバナー、井桁幹事出席）IT担当副委員長からHPの運営方針の確認、
役割分担などが確認されました。

2009, 8. 24（月） 委員会主催 サバンナセミナー（合同事務局向にて開催）

2009, 8. 26（水） 委員会主催 サバンナセミナー（RCP・ZCP対象）

2009, 9. 01（火） 委員会主催 サバンナセミナー（委員会委員長対象）

2009, 9. 05（金） 広報委員会・・・地区ニュース速報版第二号東洋東南アジアフォーラム
特集号の発行を検討しました。準備を進めることになりました。

（岡野ガバナー、渡邊国際委員会委員長出席）

2009, 9. 11（金） 広報委員会…地区ニュース速報第2号「Let's OSEAL」の発送の報告

2009, 9. 25（金） 広報委員会…地区ニュース第一号の誌面、広報内容、取材の手配などに
ついて話し合われました。

（10月3日ライオンズ奉仕の日は、広報委員会委員が地区など分担して
取材することになりました。）

2) 地区ニュース速報版について

・「ニュース速報版」として、“ガバナー運営基本方針”などについて広報する会報誌「The
Lions News」を発行し、地区内各メンバーに配布しました。

（2009年8月20日ライオン誌日本語版「The Lion」に同梱して発送）

・「地区ニュース速報版」として“東洋・東南アジアフォーラム”について広報すると
ともに参加を呼びかける「Let's OSEAL」を発行し、地区内メンバーに配布しました。

（2009年9月20日ライオン誌日本語版「The Lion」に同梱して発送）

第 2 回 キャビネット会議 委員長報告書 (2)

委員会名 広報委員会 (IT・情報部門)

委員長名 L 近藤正彦 (東京八王子陵東LC)

1) サバンナ活用のサポート

キャビネット事務の省力化、効率化のための地区会員データベースとしてサバンナの活用が必須です。各レベルにおいてのサバンナ活用対策として、地区委員会、リジョンチェアパーソン・ゾーンチェアパーソン及び各クラブ事務局を対象に計4回のサバンナセミナーを開催、サバンナへの会員情報の入力 of 徹底、会議・イベントの出欠管理について啓蒙しました。

2) 地区ホームページの運用

今期のスタート7月10日にテーマカラーのブルーを基調として、表示幅がフレキシブルな現在のスタイルにモデルチェンジしました。

キャビネットより各クラブ役員・メンバー・事務局また地区役員への情報伝達の手段として掲載内容の充実を図り、タイムリーなキャビネット情報をお伝えしています。また各クラブよりのアクティビティ・イベントの情報などを掲載、キャビネットのメディアとして活用されるように毎日更新しています。

3) 地区内各クラブのIT化を推進

各クラブの会長、幹事、事務局を対象にITセミナーの開催を計画しています。

クラブHPの活用そして連絡手段としてのメールの活用を啓蒙する予定です。

見本とすべき先進的なクラブのIT活用の事例を、そのクラブよりゲストスピーカーを招いて具体的にセミナーの出席者に紹介したいと考えます。

4) 今後の課題

サバンナによる年次大会、キャビネット会議、各委員会およびイベントなどの出欠登録の管理が完全に実現するよう今一度各位のご協力をお願いします。

5) 今期の委員会活動

上記の委員会のテーマに取り組むべく、毎月一度の頻度で定期的に委員会を開催し問題点、課題を確認、検討しております。キャビネット運営あるいはクラブ運営についてIT化は必要とのコンセンサスを得るようさらにセミナー等を通じて啓蒙していきたいと思ひます。

第2回キャビネット会議委員長報告書

委員会名 環境委員会

委員長名 L風 間 昭

報告事項

① 第1回 委員会 09'7月9日 キャビネット事務局 PM 4:00～5:30

(イ) 新旧委員顔合わせ

(ロ) 前期委員会引継ぎ事項

(ハ) 緊急対策・アラート委員会引継ぎ事項

(ニ) 担当小委員会構成について

(ホ) 今期委員会方針について

(ヘ) 環境保全委員会特別会計について

(ト) 第6回環境リーダーステップアップセミナー10月開催について

(チ) 第3回環境リーダー養成講座 10'3月開催について

② 第2回 委員会 09'8月4日 キャビネット事務局 会議室

(イ) 第3回環境リーダーステップアップセミナー10月16日

(ロ) 第6回環境リーダー養成講座 2010年2月開催について

(ハ) 東京消防庁認定「第8回上級救命技能講習会」について

(ニ) 環境アクティビティ 手引き書作成について

◎ 薬物乱用防止委員会と共催にて 藤村女子中学校にて環境省「エコ トランク」を

使用して環境の講習会を7月17日行った 委員会終了後懇親会を開く

③ 第3回 委員会 09'8月28日 キャビネット事務局 会議室PM4:00～5:30

(イ) 第3回環境リーダーステップアップセミナー10月16日

(A) 案内文、申込書、会費、予算案、議事次第、機材等検討

(ロ) 第6回環境リーダー養成講座 2010年3月開催日時検討

(ハ) 東京消防庁認定「第8回上級救命技能講習会」について日時検討

(ニ) 環境アクティビティ 手引き書作成について

(A) 事柄 内容 等検討

④ 第4回 委員会 09'9月11日 キャビネット事務局 会議室 PM4:00～5:30

(イ) 第3回環境リーダーステップアップセミナー準備について

(A) 案内文、申込書、アンケート、予算案、議事次第、機材、役割分担等協議

(ロ) 第6回環境リーダー養成講座 2010年3月開催日時について

(A) 上級技能講習会、キャビネット行事との日程調整等協議

(ハ) 東京消防庁認定「第8回上級救命技能講習会」日時について

(二) 東京都、環境省関係報告協議

(ホ) 環境アクティビティ 手引き書作成について

(A) 主旨, 方法等について協議

⑤ 第5回 委員会 09'10月13日 キャビネット事務局 会議室 PM 1:30～3:00

(A) 10月16日 ステップアップセミナー最終準備のため開催予定

⑥ 第5回 委員会 09'10月22日 キャビネット事務局 会議室 PM4:00～5:30

(A) 後期各事業検討及びガバナー諮問に対する答申の検討のため開催予定

第 2 回 キャビネット会議 委員長報告書

No.1/1

委員会名	ライオンズクラブ国際協会 330-A地区 国際委員会
報告者	国際委員会委員長 L 渡邊 晃
1. 委員会実施・予定<主にOSEALフォーラムに関して>	
OSEAL開催までの日程	
第1回	2009年 8月 5日(水) 於:キャビネット会議室 … 正副委員長会
第2回	2009年 8月21日(金) 於:キャビネット会議室 MD・地区合同委員会
<8/21(金) 第1回MD国際大会委員会 於:MD事務局>	
第3回	2009年 8月27日(木) 於:キャビネット会議室 … OSEALフォーラムパンフレット発送作業
第4回	2009年 9月10日(木) 於:キャビネット会議室 … 9月25日開催LCIFセミナーについて
<9/11(金) 第2回MD国際大会委員会 於:MD事務局>	
第5回	2009年 9月18日(金) 於:キャビネット会議室 … 第1回山浦Lを励ますチャリティコンペについて
第6回	2009年 9月29日(火) 於:キャビネット会議室 … 河合悦子第一副地区ガバナー陪席
以降 今後の予定	
第7回	2009年10月15日(木) 於:キャビネット会議室 …
<10/20(火) 第3回MD国際大会委員会 於:MD事務局>	
第8回	2009年10月20日(火) 於:ルノール会議室 … MD委員会報告及び指示
第9回	2009年10月28日(水) 於:キャビネット会議室 … 参加人数の確認
第10回	2009年11月 9日(月) 於:キャビネット会議室 … ガバナーを囲む会・ジャパンレセプション報告
以上 上記の通りスケジュールをこなし委員会一同、OSEALフォーラム参加への啓蒙活動を行って	
おります。MDはもとより地区国際委員会(国際大会担当・国際協調担当・LCIF担当)三担当合同で	
一丸となって、OSEALフォーラムを成功裏に遂行しようと努力しております。一人でも多くのLの	
御参加をお願い致します。また、毎年のお願いではございますが、特に、今期入会されたL.そし	
てキャビネット構成員のL.の出席参加を重ねて、お願い致します。	
2. 今回 地区ニューズ特別版「オセアルに行こう！」においては、OSEALフォーラムへの岡野ガバナーの	
絶大なるご協力・ご理解を戴き、大変素晴らしい特集号を発送して戴き、国際委員会への強いバックアップ	
となりました。特に近藤広報委員会委員長(PR会報担当の委員の皆様)には、大変お世話になり感謝いた	
しております。	
3. フォーラム全容に関しては、参加人数など、日々変化しておりますので、本日ご説明させて戴きます。	
ジャパンレセプション・ガバナーを囲む会・国際会長晩餐会におきましても同様にてお願い致します	
4. 2009年9月25日(金) LCIFセミナー(333複合地区主催) 於:上野精養軒	
講師のLCIF資金開発課長田辺憲雄氏から交付金申請のポイント―①人道的主義的奉仕か? ②事業の	
成果が永続的か? ③クラブの関与が十分か? ⑤効果が広範囲に及ぶか?―を具体例で的確にご説明戴き、	
非常にわかりやすいセミナーでありました。参加者(330-A地区64名 330-C地区10名)	
なお、すでにご案内の通り、来る2009年10月23日(金)には、アルバート・ブランデルLCIF理事長	
のセミナーが開催されますので、多くのご参加を宜しくお願いいたします。	

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 青少年育成委員会(薬物乱用防止担当)

委員長名 L 瀧澤 賢 司

報告事項

報告 1. 「薬物乱用防止教育講師認定制度」について

1997 年日本ではじめて 330-A 地区の熱心なメンバーを中心に、
これからの世代を担う大切な青少年を薬物乱用、特にシンナー・麻薬・
覚醒剤から守ろうと立ち上がってできた制度で、ライオンクラブと
(財)麻薬・覚せい剤乱用防止センターと共同で実施した。

330-A 地区の現況は、2009 年 7 月 1 日現在

薬物乱用防止教育講師認定証取得者	508 名
------------------	-------

都公立小学校数	1313 校
---------	--------

都公立中学校数	620 校
---------	-------

学校数の地域に差がありますが、地元の教育委員会（区、市、町）の承認
手続き、各学校の校長・養護教諭を通じて、ぜひ「薬物乱用防止教室」の
開催をお願いいたします。

報告 2. 「薬物乱用防止教室」の開催に関して

講師認定証を受け取った感動を地域の小学校・中学校に「薬物乱用防止
教室」の開催へとチャレンジ（挑戦）していただきたい。

昨年、薬物乱用防止教室推進手引書が完成し、具体的な事例を基に、
すぐ役立つマニュアルとして受講された認定講師に配布いたしました。

その他、薬物乱用防止担当として「薬物乱用防止教室」の開催アドバイスを
支援いたします。

報告 3. 9 月 4 日第一回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師」連絡会開催

場 所	キャビネット事務局
-----	-----------

出席者	35 名
-----	------

報告 4. 9 月 30 日第一回「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師」

連絡会役員会開催（役員及び委員名簿）

場 所	キャビネット事務局
-----	-----------

出席者	15 名
-----	------

≪ 2009-2010：薬物乱用防止担当：年度計画 ≫

【 2009 】

- 済：07/28(火) 2009-2010 年『330-A 地区第 1 回キャビネット会議』開催 於：東京プリンスホテル
 済：07/30(木)15-17 時 第 1 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 済：08/03(月)13-17 時 臨時薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ・9/4(金)第 1 回薬物乱用防止ゴールド認定講師連絡会案内状発送
 済：08/17(月)15-17 時 第 1 回青少年育成委員会全体会議(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 ・薬物乱用防止教育ゴールド認定講師申請書発送(～8/30 迄)
 済：08/17(月)18 時～ 青少年育成委員会懇親会(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 済：08/31(月)15-17 時 第 2 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ・9/4(金)第 1 回薬物乱用防止ゴールド認定講師連絡会開催準備
 ・薬物乱用防止ゴールド認定講師審査
 済：09/04(金)14-17 時 第 1 回薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会 於：キャビネット事務局
 ・議題別紙
 ・薬物乱用防止教育ゴールド認定講師申請再確認(追加～9/10 迄)
 済：09/16(水)15-17 時 第 3 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ・10/12(月)第 1 回薬物乱用防止教育講師養成講座開催準備
 ・一般及びゴールド認定者へ養成講座申込状発送
 済：09/30(水)15-17 時 第 1 回 Gold 連絡会役員会(全 22 名) 於：キャビネット事務局
 済：10/02(金)15-17 時 第 2 回青少年育成委員会全体会議(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 ※ 10/05(月)「薬物乱用防止教育ゴールド認定講師申請」締切日
 ※ 10/07(水) 10 時～ 第 1 回薬物乱用防止教育講座養成講座会場ビックサイトにて打合せ
 ※ 10/13(火)「第 1 回薬物乱用防止教育講師養成講座申込み」締切日
 ☆ 10/14(水)15-17 時 第 5 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ・認定証発行
 ・後期スケジュールの再チェック
 ◎ 11/02(月)14-17 時 第 1 回薬物乱用防止教育講師養成講座 於：ビックサイト
 ◎ 11/28(土) 東京都主催「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」東京大会への希望参加 於：会場未定
 ○ 12/04(金)15-17 時 第 3 回青少年育成委員会全体会議(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 ☆ 12/ ()15-17 時 第 5 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局

【 2010 】

- ☆ 01/ ()15-17 時 第 6 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ・1/27(水)第 2 回薬物乱用防止教育講師養成講座開催準備
 ◎ 01/27(水)「東京都薬物専門講師養成講座」 於：東京都庁舎
 ・第 2 回薬物乱用防止教育講師養成講座
 ○ 02/05(金)15-17 時 第 4 回青少年育成委員会全体会議(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 ☆ 02/ ()15-17 時 第 7 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ☆ 03/ ()15-17 時 第 8 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ◎ 03/ ()14-17 時 第 2 回薬物乱用防止教育ゴールド認定講師連絡会 於：キャビネット事務局
 ○ 04/02(金)15-17 時 第 5 回青少年育成委員会全体会議(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 ☆ 04/ ()15-17 時 第 9 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ☆ 05/ ()15-17 時 第 10 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ○ 06/04(金)15-17 時 第 6 回青少年育成委員会全体会議(全 16 名) 於：キャビネット事務局
 ☆ 06/ ()15-17 時 第 11 回薬物乱用防止担当委員会 於：キャビネット事務局
 ・1 年間のまとめ
 ・会計報告

《 ゴールド認定講師連絡会役員および委員 》

2009/09/04現在

役職	R-Z	メンバー名	薬乱講師一般orGold	RCP	所属クラブ	330-Aキャビネット内
会 長	(5R-1Z)	L 舘 親光	Gold		東京葛飾LC	330-Aキャビネット薬物乱用防止担当責任者
副 会 長	(5R-2Z)	L 徳田 修一	Gold		東京江戸川東LC	
	(8R-1Z)	L 川西 三千雄	Gold		東京豊島LC	
	(4R-3Z)	L 湯田 啓一	DrugAdviser	(4RC)	東京セントポールLC	
委 員	1R-2Z	L 千々波 真照	DrugAdviser	1RC	東京番町LC	
	2R-1Z	L 森田 半兵衛	DrugAdviser	2RC	東京浜町LC	
	3R-3Z	L 橘 薫	DrugAdviser		東京麴町LC	
	4R-3Z	L (湯田 啓一)	DrugAdviser	4RC	(東京セントポールLC)	
	5R-2Z	L (徳田 修一)	DrugAdviser	5RC	(東京江戸川東LC)	
	6R-2Z	L 丸山 一仁	DrugAdviser		東京不忍LC	
	7R-2Z	L (田中 秀樹)	DrugAdviser		(東京志村LC)	(330-Aキャビネット薬物乱用防止担当委員)
	8R-1Z	L (川西 三千雄)	DrugAdviser		(東京豊島LC)	
	9R-1Z	L 今村 廉彦	DrugAdviser	9RC	東京大井LC	
	10R-1Z	L 大古 正博	DrugAdviser	10ZC	東京代々木LC	
	11R-1Z	L 吉野 隆幸	DrugAdviser	11RC	東京新都心LC	
	12R-2Z	L 中山 道則	DrugAdviser		東京町田クレインLC	
	13R-1Z	L 森 義典	Gold	13RC	東京立川LC	
	14R-2Z	L (梶 正明)	(DrugAdviser)	14RC	(東京羽村LC)	(330-Aキャビネット薬物乱用防止担当委員)
	(14-2Z)	L 梶 正明	DrugAdviser		東京羽村LC	330-Aキャビネット薬物乱用防止担当委員
	(7R-2Z)	L 田中 秀樹	DrugAdviser		東京志村LC	330-Aキャビネット薬物乱用防止担当委員
	(14R-1Z)	L 宮崎 俊博	Gold		東京八王子陵東LC	330-Aキャビネット薬物乱用防止担当委員
		阿部 俊三	財団法人：麻薬・覚せい剤乱用防止センター企画部長			

第2回キャビネット会議委員長報告書

委員会名 青少年育成委員会

委員長名 瀧澤 賢司

報告事項

<YE プログラム>

・協賛金拠出のお願い

ライオンズクラブ国際協会の「青少年交換プログラム (YE プログラム)」は 1962 年に国際理事会の承認を受け発足した国際プログラムであります。日本においても YE 生の派遣、受入が複合地区を通じ準地区に割り当てられ本プログラムが実施されています。

実施に際して種々の経費が発生するため第 1 回キャビネット会議においてメンバー 1,000 円以上のご支援を承認頂いたところでございます。

しかしながら過去の経緯、クラブ事情等でご支援頂けないクラブもございます。

ご協力願えないクラブには大変恐縮ではございますが「青少年の健全育成の一環」として YE プログラムを捉えて頂き理事会において再度ご検討願いご支援賜われれば幸いです。リジョンチェアパーソン、ゾーンチェアパーソン、地区役員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第でございます。

尚、ご不明な点がございましたら当委員会 (YE 担当) へお問い合わせ下さい。ご説明にお伺いいたします。

・委員会概要

第1回 2009年8月10日（月）

— 今期（'09～'10年度）の当部門の活動概況及び重点事項、問題点等を討議

決議 8月中に各クラブに協賛金拠出のお願い書とアンケート調査書の配布を実施
することとした。

第2回 2009年8月20日（木）

— '08～'09年度 YE 委員会からの引継ぎ会を実施

決議 '08～'09年度 YE 委員会主催の YE 派遣生帰国報告会に今期委員会が出席する
こととした。

第3回 2009年9月18日（金）

1）10月5日（月）開催の各クラブ YE 委員会の準備等打ち合わせ

2）冬期来日生（約3名）のホストファミリーの打診を開始することとした

3）YE 協賛金の現状報告

・開催会合

2009年10月5日（月）15:30～17:00 日本青年館

各ライオンズクラブ YE 委員長会

・第46期（2009～2010年度）YES（Youth Exchange Service）の役員決定

会長 上地 崇 （創価大学3年）

副会長 藤野 幸平 （拓殖大学2年）

〃 大野 美咲 （東京工科大学2年）

会計 伊藤 みゆき （日本女子大学2年）

メンバー総数 15 名

・冬期派遣

派遣（マレーシア） 1 名

来日（受入れ） 3 名（予定）

<レオ育成>

東京 PHIL レオクラブ主催の第 36 回あしなが P ウォーク 10 の活動支援

開催日 11 月 8 日（日）

詳細については別添資料参照

<ライオンズクエスト>

本件についてはメンバーの理解度が低くアクティビティとしての取り組み方もよく解らないと云うのが実状かと思われる。

そこでアンケート調査を実施し、本件への各クラブの取組やメンバーの理解度を把握し活動の方向性を探り、今後の本件への取組みを検討いたしたい。



2009 年 10 月 14 日

ライオンズクラブ国際協会
330-A 地区 クラブ会長・幹事様

ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区
ガバナー 岡野 忠生
青少年育成委員会委員長 L 瀧澤 賢司

「あしながPウォーク 10 隅田川コース」参加へのご案内

拝啓 秋冷の候、メンバー各位にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は当委員会活動に対しご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

このたび東京 PHIL レオクラブ（スポンサークラブー東京番町ライオンズクラブ）が主催する「あしながPウォーク 10 隅田川コース」を当委員会で支援することといたしました。

「あしながPウォーク 10」は①国内外遺児の現状を伝え「歩くボランティア」や「寄付」での賛同者を増やす②一人一人がみんなのことを考える「フィランソロピー」（やさしい人間愛）社会（P）」啓発の実践を目的として行っているイベントで今回の隅田川コースではうつ病を中心とした精神疾患の啓発をテーマとしております。

（Pウォークにつきましては別添資料をご覧ください。）

つきましては本イベント開催主旨にご賛同いただけるメンバー各位には奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

尚、メンバー以外の方のご参加も大歓迎です。

開催概要は下記の通りです。

敬具

記

1. イベント名 「あしなが P ウォーク 10 隅田川コース」
2. 日・時 2009 年 11 月 8 日（日）
受付 9 時 30 分～
スタート 10 時（雨天決行）
3. 集合場所 墨田区役所うるおい広場
墨田区吾妻橋 1-23-20
最寄駅 都営地下鉄 本所吾妻橋駅、浅草駅
東京メトロ銀座線 浅草駅
4. コース うるおい広場ー上野恩賜公園ー浅草寺ー両国横網公園（約 10km）
※歩きやすい服装でご参加下さい。荷物のお預かりは出来ません。
5. 参加費 大人 500 円 中高生 300 円 小学生 100 円
（運営費に充てさせていただきます。）
6. 主催 東京 PHIL レオクラブ
7. 後援 文部科学省、厚生労働省、日本労働組合総連合会、J リーグ選手協会、
日本医師会、墨田区
8. お申込み 当日、受付までお来ください（事前のご登録は不要です）
8. その他 企業・団体・個人からのご寄付（ドネーション）につきましては世界の
遺児の現地での①寺小屋教室（読み、書き、計算）支援②日本への
留学支援を二本柱とした教育支援活動費用としてあしなが育英会
（海外遺児支援特定口座）に全額寄付させていただきます。
ご支援の程、よろしくお願いいたします。

以上

参考資料

東京PHILレオクラブ 2009 年度会長

岸上 史士

あしながPウォーク 10 隅田川コースのご案内

前略

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度、東京PHILレオクラブでは、第 36 回あしながPウォーク 10 隅田川コースを開催いたしますので、ご案内させていただきます。

あしながPウォーク 10 は 1991 年より発足したボランティアウォークイベントです。10 キロメートルのコースを歩きながら、テーマに基づいて参加者同士で交流をします。あしなが育英会の海外遺児支援活動への参加者の理解を深めることと、フィランソピー(万人愛主義)精神の普及を目標としております。今年度は弊クラブにて第 36 回あしながPウォーク 10 隅田川コースを開催いたします。テーマをうつ病を中心に精神疾患の理解とし、コース周辺の精神障害者施設との連携の下に啓発活動を行います。

ぜひとも皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いします。

草々

記

- 1 主催 第 36 回あしながPウォーク 10 実行委員会
- 2 目的 ①国内外遺児の現状を伝え、「歩くボランティア(V)」や「寄付 V」での賛同者を増やす
②一人一人がみんなのことを考える「フィランソピー-(やさしい人間愛)社会」の啓発を実践
③隅田川コースのテーマ : うつ病を中心とした精神疾患の啓発
- 3 後援 文部科学省、厚生労働省、日本労働組合総連合会、Jリーグ選手協会、日本医師会
(一部申請中)
- 4 日時 2009 年 11 月 8 日(日)午前 9 時半受付・10 時スタート(雨天決行)
- 5 場所 墨田区役所うるおい広場集合 — 浅草寺 — 隅田川 — 横網町公園解散
※歩きやすい服装でご参加ください。荷物のお預かりはできません。
参加費:大人 500 円 中高生 300 円 小学生以下 100 円 (運営費に充てさせていただきます)
- 6 企業・団体・個人よりの寄付先
世界の遺児の①現地での寺小屋教室(読み、書き、計算)、②日本留学支援を二本柱とした教育
支援活動費用としてあしなが育英会(海外遺児支援特定口座)に全額寄付

以上

東京 P H I L レオクラブ 2009 年度会長

岸上 史士

第 36 回あしなが P ウォーク 10 隅田川コース開催に際して

時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび東京 P H I L レオクラブで第 36 回あしなが P ウォーク 10 隅田川コースを開催いたします。つきましては、あしなが P ウォーク 10 実行委員会について、および、弊クラブにて開催するに至った経緯についてご説明いたします。

まず、あしなが P ウォーク 10 についてご説明します。あしなが P ウォーク 10 は 1991 年に発足したボランティアイベントです。アメリカのニューヨークにて毎年開催されております、小児まひ啓発とポリオワクチンのためのチャリティーイベント「マーチ・オブ・ダイムス」を参考に始められました。主催するあしなが P ウォーク 10 実行委員会は、あしなが育英会の大学奨学生が中心となって結成される団体です。がん遺児問題や阪神大震災遺児の心のケアなど、毎回全国の各コースで共通のテーマを設定して、全国 47 都道府県でウォーキングコースを開催し、参加者への啓発活動を行ってまいりました。現在はあしなが育英会の海外遺児支援の啓発をテーマとしております。また、参加者の人数に応じて協賛企業より協賛金の提供を受け、あしなが育英会へ全額寄付しております。

次に、このたび東京 P H I L レオクラブで第 36 回あしなが P ウォーク 10 隅田川コースを開催するに至った経緯についてご説明します。あしなが P ウォーク 10 はあしなが P ウォーク 10 実行委員会のボランティアスタッフの不足や参加者の低迷が続いており、今回より全国的にコースの縮小を行いました。最盛期には全国で 100 コース以上開催しておりましたが（東京都内でも隅田川コース・日比谷コース・お台場コース・武蔵野コース・高尾山コースなど多くのコースがありました）、今回より各都道府県 1 コースの開催となり、東京ではあしなが P ウォーク 10 実行委員会による開催は日比谷コースのみとなります。

東京 P H I L レオクラブのメンバーにはあしなが P ウォーク 10 実行委員会の元メンバーが多く、今回のコース縮小を残念に思っておりました。特に隅田川コースは近辺に旧所・名所が多く風光明媚で、是非存続させたいと考え、今回弊クラブにて開催することとしました。また、あしなが P ウォーク 10 実行委員会にて設定された「海外遺児支援の啓発」と同時に、弊クラブでは精神疾患の啓発活動をコースのテーマとして設定し、精神保健の側面より地域社会への奉仕活動といたします。

以上ご理解ご協力よろしく申し上げます。



第 36 回あしなが P ウォーク 10 隅田川コース

問い合わせ先：

東京 P H I L レオクラブ

岸上史士

Tel 080-5516-4144

〒371-0035 群馬県前橋市岩神町 2-7-18

kishigami234@hotmail.com

あしなが P ウォーク 10 実行委員会

〒102-8639 東京都千代田区平河町 1-6-8 あしなが育英会内

Tel 03-3221-2529

Fax 03-3221-7676

コース経路概要



創立 2003 年



東京 P H I L レオクラブ

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 福祉委員会

委員長名 戸田一郎

報告事項

福祉委員会は①障害者・老人者福祉担当 ②献血・骨髄移植推進担当 ③献眼

献腎・癌撲滅担当 の三部門の委員会構成となっている。

岡野ガバナーは本年度の運営基本方針の中で「雪月花のとき、友を思う」と云う川端康成のコトバを引用し、相手を思いやる心を運営の基礎としていると述べてい

る。福祉委員会はガバナー運営方針に則り心に訴える奉仕活動を心がけるように各クラブを指導誘導して行く方針を固めた。献血、献眼に関わる奉仕活動は単一クラブレベルに於いて既に長期に亘り活発に実施されており、こと更口を差し挟む事は避けることにした。各担当部会としては担当副委員長より以下の答申が出されている。

①障害者・老人福祉担当委員会についてはガバナー諮問事項である「東京都障害者スポーツ大会支援」を主軸として委員会活動を行う事としている。主催団体である「公益社団法人東京都障害者スポーツ協会」より具体的に実施部門の指示の指示を受けてから活動に入る事にした。

②献血・骨髄移植推進担当委員会では2010年2月19日に江東区辰巳の日赤血液センターに於いて330複合地区レベルでの「献血・骨髄移植セミナー」の開催を予定している。また劇団「絵生（エキ）」による骨髄バンクドナー推進キャンペーンドラマ「友情」の講演が文化庁の後援で2010年1月5日より2月28日に亘り銀座「博品館」で行われる事に対し地区レベルでの協力を要請したいとの実施団体の（株）ドラマ・ステーションからの申し入れがあった。

③献眼・献腎・癌撲滅担当委員会に於いては以下の審議がなされた。

献眼奉仕は特にご自身の意志表示が為されていても親族など周囲に伝達されていないケースが多い。死亡後にご自身は物体になり意思表示は遺族によって為される。

遺族は献眼実施の決断には相当の心理的負担がかかり後悔の念も残る。その負担を一部でも軽減し献眼実施の決断を促す一助として献眼登録の意志を表した「顕彰状」

などを常時家庭や事業所内に掲示して置けばよろしいのではないか、との意見が

述べられた。そのためには既に献眼登録をした方にも再登録を求め「顕彰状」を交付して意志の周知を計った方が意志の実行決断の踏み台になるのではないか。330

複合地区の献眼献腎委員会に於いても第1回委員会に於いて同様な意見が委員長より示された。また、東京麻布LC協賛の角膜移植により視力を回復した患者と

角膜提供者の遺族、仲立ちをした移植コーディネーターが一堂に集まる交流会が
 2009年10月18日（日）に大手町「KDDI ホール」で開催され各々の立場
 からの気持ちが語られる。人間の心情に深く触れ献眼の重要性、尊さが再認識され
 献眼登録を推進する我々にとっても尊い仕事をしていると云う自信が得られる。
 今回は第12回の実施であるが、初回より歴代ガバナーのご出場を頂きライオンズ
 クラブと視覚障害者との関わりについてのお話を賜っている。今回も岡野ガバナー
 がご出場されあいさつをされ午後から行われた視覚障害者の皇居周回マラソン大会
 のスターターを務められた。

癌撲滅運動については親族など周辺に実際に癌による不幸不安を体験したメンバー
 のお話などをお聞かせ頂き運動の根幹としたい。そして体験者の所属クラブ、ゾー
 ン、リジョンなどに協力を頂き癌撲滅運動の意識向上の中心として運動を高めて
 行きたいと考えている、との担当副委員長からの答申があった。

また、10月28日に開催される7R1Zのガバナー公式訪問に「(財)がんの子供
 を守会」から斉藤秀子様をお招きし講演をお願いする事にしている。

委員会実施及び予定			
第1回	8月 5日	キャビネット事務局会議室	
第2回	9月24日	キャビネット事務局会議室	
第3回	10月18日	大手町 KDDI ホール	
第4回	12月 9日	秋本委員宅	
第5回	2月19日	江東区辰巳 日赤血液センター	

(注) 10月5日（月）（※必着厳守）までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
 EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします（Eメール報告推奨）
 Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
 ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org	Fax : 03-5330-3370
--	--------------------

友情=Friendship=秋桜のバラード

平成21年9月吉日

2010年「友情」公演のご案内

拝啓

朝夕日毎に涼しくなり、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

この度は私どもが企画制作させて頂きました舞台「友情=friendship=秋桜のバラード」の本年公演のご案内をさせて頂きました。

この「友情=friendship=秋桜のバラード」は、白血病治療の副作用のため髪の毛が抜け落ちた女子中学生を、クラスメート全員が頭を丸めて温かく励ますという、米国の実話に基づく感動の作品です。

『少年による犯行』『未成年者による凶悪犯罪』といったニュースが毎日のように流れる昨今、少年少女たちの心は本当に荒んでしまったのでしょうか・・・？すべての人々の心には、人を敬い、愛する心が必ずあると信じて止みません。この作品には私たち大人も忘れかけている温かい人の絆があふれています。是非ともご高覧を賜り、今の不安な世の中に爽やかな感動を味わっていただきたく存じます。

平成11年よりスタートした公演は、おかげさまで持ちまして大変なご好評を頂き、本年で11年目を迎えることとなりました。その間、東京、名古屋、大阪をはじめ、米国・ロサンゼルス、韓国・ソウル、中国・大連といった国内外でこれまでに357回を数えることが出来ました。

また、本公演は初演以来、(財)骨髄移植推進財団へのドナー登録推進のための啓蒙活動を目的の一つとしており、それも多くみなさまにご支持頂いた理由ではないでしょうか。

ともあれ、「友情」の感動をみなさまにもお届けしたいとの思いで取り組んでおります。どうぞご検討の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

チケット予約受付

Tel) 03-5427-1887

Fax) 03-5427-1884

株式会社 劇団絵生

〒106-0045

東京都港区麻布十番 2-3-5

新麻布十番ビルディング 502

(ドラマ・ステーション JAPAN 内)

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 第 56 回年次大会 委員会

委員長名 L 飯 田 金 廣

報告事項

1. 第 56 回年次大会 テーマ (年次大会委員会案)

第 1 案 『 原点を見極め 初心のままだに 』

— 今こそ 礎になれ 輝き続けるライオンズのために —

第 2 案 『 原点を見極め 初心のままだに 』

— 誠実に 輝き続けるライオンズのために —

2. 記念事業 「東京都障害者スポーツ大会特別協賛」

3. 年次大会運営企画アンケート調査の実施 (ガバナー諮問事項)

対 象 : キャビネット構成員、各委員会副委員長

回答率 : 48% (9 月 25 日現在)

4. 第 56 回年次大会 企画概要 (案) (アンケートの結果を参考)

(1) 基本的考え方

華美でなく質素で、厳粛で思いやりのある、ライオンズクラブに相応しい年次大会とし、なるべく多くの会員が出席し易いような大会を目指す。

(2) 構成 [代議員会・式典・感謝の集い]

① 代議員会 [代議員会総会 → 選挙会 → 分科会 → 代議員会総会]

「分科会」の実施方法について

委員会をベースに分科会を作り、本来の分科会のあり方に基づき「議案」を定めて、討論、審議を行い、代議員会総会に提案し、決議できるようにする。

なお、シンポジウムはやむを得ない場合のみとしたい。

分科会は下記の 10 分科会の設置を予定している。

(ア) 政策・会則分科会

(イ) 長期計画分科会

(ウ) 経理分科会

(エ) 会員関係分科会 (会員、指導力育成、エクステンション、リテンション)

(オ) 広報関係分科会 (PR・会報、IT・情報)

報告事項

(カ) 国際関係分科会（国際大会、国際協調、LCIF）

(キ) 組織連携分科会（330-A 地区支援会、愛の泉基金、ライオンズカード）

(ク) 環境関係分科会（環境保全・資源保護、緊急災害・防災対策）

(ケ) 青少年育成関係分科会（ライオンズクエスト、薬物乱用防止、YE・レオ育成）

(コ) 福祉関係分科会（障害者・高齢者福祉、献血・骨髄移植推進、献眼・献腎・癌撲滅）

② 「式典」 [1 部：常陸宮両殿下のご臨席、 2 部：ライオンズ式典]

ライオンズ式典はボランティア関係者などによる記念講演の企画を検討する。

③ 「感謝の集い」は食事の前に約 20 分～30 分間、障害者奏者、またはアマチュア音楽グループなどによるコンサートの企画を検討する。

④ アワード表彰

アワード表彰は厳正なる審査の基に、真に価値ある活動や貢献者に対して贈呈する賞と位置付けし、アワード表彰の価値観を高める。

アワード表彰の種類、数により表彰方法、表彰会場などについて検討する。

⑤ 各種登録費用（案）

最近の時勢を考慮して、なるべく安くし、多くの会員が出席し易いようにする。

(ア) 代議員会総会および大会式典（代議員）・・・10,000 円

(イ) 大会式典のみ（会員・同伴者）・・・・・・ 5,000 円

(ウ) 感謝の集い・・・・・・ 10,000 円

（３）大会運営組織

① 部会構成 [7 部会の設置を予定]

- ・総務部会・式典部会（来賓接待、救護含む）・会場部会・晚餐部会・登録部会
- ・広報部会（広報委員会に依頼）・アワード部会（今年度新設）

② 部会員 [正副部会長・各部会委員]

正副部会長： 年次大会委員会推薦の候補者（案）は別紙の通り

各部会委員： 各クラブの代議員にならない会員、入会 5 年以内の会員および新入会員の中から、リジョン・チェアパーソンに推薦を依頼する予定。

（４）その他

「記念アクティビティ」ほか詳細については後日決定する。

5. 正副部会長会議、全体会議 は日時が決定次第、ご案内する予定。

以上

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 選挙管理委員会

委員長名 L 池田 和司

報告事項

1 「2010～2011 年度地区ガバナー、第 1 及び第 2 副地区ガバナー選挙に関する規定」について検討し、政策・会則委員会に付託した。

2. 規定の実施要項について検討した。

今期は運用面を強化する方向で検討を続けます。

3. 地区ガバナー、第 1 及び第 2 副地区ガバナー指名選挙委員会について、選挙に関する従来の規定第 16 条によれば、選挙管理委員会の総員数は 20 人以内となっているが、現在 6 名が任命されている。

年次大会対応として、残り 14 名の委員を増員するようお願いしたい。

(注) 10月5日(月)(※必着厳守)までに330-A地区キャビネット事務局宛まで
EメールもしくはFAXにてご提出をお願いいたします(Eメール報告推奨)
Eメール件名は必ず「第2回キャビネット委員長報告書」としていただき、
ご自身の委員会名及び氏名をご入力の上ご送信ください。

E-mail: cab@lions330-a.org / Fax : 03-5330-3370

第 2 回 キャビネット会議委員長報告書

委員会名 組織連携特別委員会

委員長名 L家喜 凱雄

報告事項

当委員会は今期L岡野忠生ガバナーの諮問を受け、一般社団法人 330-A 地区支援会、愛の泉緊急災害基金、ライオンズカード検討、以上 3 組織連携を、目的に活動しております。 8 月 7 日キャビネット会議室で第 1 回委員会を開催、L岡野忠生ガバナー出席挨拶、委員会諮問について討議した。ライオンズカードについて元委員長L久賀神運氏より約 2 時間のセミナーをうけた。 今期はライオンズカード使用の目的、活用、(LCIF の献金にカード使用メリットがある) 等の説明を、会員各位へ届け、同時にライオンズカード所有者増加PRを検討することにした。

第 2 回委員会は 9 月 1 日キャビネット会議室で開催、一般社団法人 330-A 支援会、の新役員決定及び個人預託金の返還状況報告をした。第一回キャビネット会議提出案件の愛の泉緊急災害基金の、災害発生時の運用について答申の検討をした。

ライオンズカード検討、については次回委員会でL吉崎光男副委員長の資料提供で、具体案を進めることにした。閉会後懇親会で、有意義な意見交換ができた。

第 3 回委員会は 10 月 6 日キャビネット会議室開催、今回もL中島高章副幹事同席 9 月 9 日開催のRC・委員長会議の報告。 9 月 25 日上野精養軒で開催のLCIF (333MD主催) セミナーに参加した、LCIFとライオンズカードの連携に関してL吉崎副委員長が資料説明し、組織連携委員会として次の通り各委員会の協力が必要と結論し要請することになった。

- a) 国際委員会 LCIFとライオンズカードの連携
- b) 広報委員会 PR・地区ニュースへの掲載等及びデザインの援助。
- c) 広報委員会 IT・情報 各クラブ及び会員への広報掲載。

以上報告をいたします。